

# かめやま教育通信

第7回

新1年生の子どもたちを対象に  
就学時健診が始まりました。  
小学校入学まで、あと半年。  
基本的な生活習慣や運動習慣を  
身に付け、自尊感情が高まるよ  
うに、ご家庭での就学前教育を  
大切にしてください。



## 「がっこう」ってたのしいね！

～幼児教育・保育と小学校教育との円滑な連携のために～

市内には、11の小学校と、公私立合わせて5つの幼稚園、13の保育園、1つの認定こども園があります。幼稚園、保育園、認定こども園、小学校それぞれの保育・教育の特徴や違いがあるなかで、それぞれが連携を強化して、子どもたちの「育ち」と「学び」をつなぐため、さまざまな取り組みを行っています。



## 「育ち」と「学び」をつなぐ2つのカリキュラム

### 園では…「アプローチカリキュラム」

#### 【みんなで1つのことを協力して行う体験】

みんなと力を合わせて活動することを通して、自己決定する力や主体的に活動に取り組む力、最後まであきらめない力が育まれていきます。また、1日の活動の流れに見通しを持たせ、集団の中で「聞く」「話す」場面を増やしていくことで、小学校での学習にスムーズにつながります。



#### 【園と小学校との交流】

園の子どもたちは、小学生と一緒に活動し、小学校での生活を知ることで、期待感・安心感を持つことができます。

また、小学校の子どもたちにとっては、年下の幼児への言葉づかいや関わり方を工夫したり、思いやりの心を育んだりするなかで、自分の成長に気付き、自己肯定感を高めることへとつながります。



### 小学校では…「スタートカリキュラム」

#### 【小学校入学後に実施される合科的カリキュラム】

入学当初は短い時間で学習・活動を区切り、少しずつ45分の授業になれるようにしていきます。また、たくさんの友だちや先生と関わる機会も多くもつようにしています。

※合科的カリキュラムとは、例えば「国語科と生活科を合わせる」のように、複数の教科を関連付けながら、合わせて学習することです。



文部科学省が定めた新しい「学習指導要領」と「幼稚園教育要領」では、幼児期と児童期の連続性や一貫性が強調されています。

今後は、幼児教育・保育と小学校教育の接続カリキュラムがますます重要となってきます！

※新しい「学習指導要領」は、小学校では平成32年度から全面実施、新しい「幼稚園教育要領」は、幼稚園では平成30年度から全面実施されます。



## 図書館の JR 亀山駅前への移転決定の経緯とこれから…

教育委員会では、昨年10月、現状の図書館の諸問題解決に向けた『図書館の今後の方向性』をまとめ、総合教育会議で市長に報告しました。その際、市長から、JR亀山駅前への移転の可能性についての検討依頼がありました。

その後、今年3月から5月にかけて、「これからの亀山市立図書館に関するアンケート調査」を実施し、亀山高校生徒、市内小・中学校児童生徒の保護者、社会教育関係者や委員、地域まちづくり協議会関係者、図書館来館者などから、図書館の利用状況や意識などに関して1,697件の回答をいただきました。

そして、このアンケート結果や平成27年度に実施した市民アンケートの結果を尊重しつつ、また、近年開館した市外県外の複数の図書館の調査を行うなど、検討を重ねてきました。

### 図書館は、立ち寄りもOK！滞在もOK！

図書館は、多くの市民に活用され、図書の貸し出しだけでなく、学びと交流による『つながる場、集える場』を“めざす姿”とし、現状の諸問題の多くが解決され、機能・サービスを含めた拡充の実現に向けて、JR亀山駅前が適地と判断しました。

『図書館整備基本構想』(※)の策定にあたっては、社会教育委員会、生涯学習推進会議、図書館運営委員会の意見もお聞きしながら、教育委員会での協議も併せて16回の議論を重ねてきました。そして、今年7月に策定へと至り、そのなかでJR亀山駅前に図書館を整備することにしました。

※新しい図書館の担うべき役割や機能、どのような図書館サービスを実現していくことが望ましいかをまとめたもの

これからは、駅前に図書館がある特性を生かし、若者、乳幼児、親子、高齢者、亀山への来訪者などの幅広い利用者が行きやすく、地域の情報拠点になるとともに、「あの図書館があるから亀山市に住みたい」と思えるシビックプライド（都市に対する誇りや愛着）につながる図書館づくりに向けた、『整備基本計画』策定に着手する手続きを進めます。



### 図書館に関する アンケートの結果（概要）

- 現在の図書館の満足度は25.5%、その充実についての重要度は60%  
(平成27年度実施市民アンケートより)
- 図書館の利用頻度が高い利用者は、市民の28%
- 図書館を利用しない人は、市民の23%
- 高校生の63%が利用したことがない
- 図書館に行かない理由の半数は、場所を知らない、行きにくい、行けない、行く目的がない
- 来館手段の70%が自動車、バイク、自転車
- 図書館サービス向上の手段は、交通アクセスの向上が34%、さまざまな学びに対応した図書の充実が57%、駐車場を増やすが31.7%、飲食や喫茶スペースの設置が31.3%  
(平成29年度実施アンケートより)

※平成29年度実施アンケートの結果は、図書館ホームページに全文(「亀山市立図書館整備基本構想」【参考2】)を記載しています。

亀山市立図書館整備基本構想 検索

※『整備基本計画』策定にあたっては、市民ワークショップなどを通して、市民の皆さんの意見をお聞きしながら進めていきます。また、整備推進に係る委員会には、公募による委員も参加いただく予定をしています。

問合せ先 <市の教育相談窓口> ※市外局番(0595)

- ・いじめ等の学校生活 教育研究室 (☎84-5077)
- ・青少年の引きこもり 青少年総合支援センター (☎82-6000)
- ・子どもの育ちや発達 子ども支援室 (☎83-2425)
- ・教育行政全般 教育総務室 (☎84-5072)